

小児看護学

(令和4年度1年生用)

専門分野

授業科目	小児の発達と看護	講師	氏名	①田中千尋 ②梶原陽子	開講年次			
			所属	①専任教員 ②病院	1年次 後期	2単位 45時間		
			実務経験	①臨床看護師 ②小児看護専門看護師				
科目のねらい	子どもは常に成長・発達する過程にあり、一人の人間として尊重される存在である。小児看護は、新生児期から思春期までの子どもとその家族を対象に健康維持・増進を支援する。子どもの特性や社会環境による影響を理解し、子どもの健やかな成長・発達を支援する小児看護を学ぶ。							
到達目標								
知識技術	1. 子どもの身体的、認知的、社会的成長・発達の過程を説明できる。 2. 成長・発達に応じた基本的生活習慣の自立に向けた援助ができる。 3. 子どもの健康を守るうえで行われている政策や法律について説明できる。							
思考判断表現	1. 子どもの発育を評価することができる。 2. 健康障害を持つ子どもと家族に必要な看護援助を述べるができる。 3. 子どものおこりやすい健康問題に対して、予防する方法を提案できる。 4. 子どもの取り巻き環境を踏まえ、子育て支援や小児医療の課題や今後の在り方について考察できる。							
主体的学習態度	1. 子どもの人権を尊重した言動・態度ができる。 2. 主体的に学習し、自分の子ども観、小児看護学における看護観を述べるができる。 3. 小児医療における倫理について述べるができる。							
科目評価	①定期試験（筆記） 100% ②定期試験（実技） 100%（乳児の身体計測） ※ モデル人形を用いて身長、体重、頭囲、胸囲測定を実施します。 ①②ともに合格した者を単位取得とする。							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 小児看護学②小児看護技術 (メディカ出版)							
参考文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ ①小児看護学概論小児臨床看護総論 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	小児看護の特徴と理念、子どもの権利、小児看護専門看護師の役割	○			田中千尋	倫理学 心理学 発達心理学 教育学 療養生活援助技術Ⅰ・Ⅱ	学習のポイント① 子どもの成長発達と看護 子どもの養育援助技術 (食事、排泄、睡眠、更衣、清潔)	
2	小児の安心・安全な環境の調整	○					からだの構造	学習のポイント② 乳幼児健診、予防接種 子どもの事故と対策
3	子どもとのコミュニケーションと遊び	○					からだの機能	学習のポイント③ 子どもによくみられる健康問題とその支援
4	養育援助技術	○					生命に必要なエネルギー	学習のポイント④ ピアジェ認知発達論を用いた子どもの病氣と死の理解
5	食事(調乳、離乳食)とオムツ交換、更衣、歯磨き		○				子どもの病を見る	学習のポイント⑤ 小児科外来で行われる検査、処置における子どもとその家族の看護
6	乳幼児健診(身体発育、発達の評価)	○					診療補助援助技術Ⅰ、Ⅱ	学習のポイント⑥ 障がいのある子どもと家族の看護
7	小児予防接種	○					病氣と共に生きていく人の看護	
8	処置に伴うブレパレーション	○	○				健康教育	
9	子どもによくみられる事故と対策	○					社会福祉	
10	誤飲、窒息、溺水、熱傷、頭部外傷など							
11	子どもによくみられる健康問題とセルフケア発達の看護	○					戸田	
12	子どもの病氣と死の理解	○					前田	
13	健康障害が子どもと家族に与える影響	○					陽梶子原	
14	成人への移行期にある健康障害をもつ子どもと家族の看護	○					前田	
15	終末期にある子どもと家族への看護	○					戸田	
16	検査・処置を受ける子どもに対する看護	○					田中千尋	
17	小児科外来における子どもとその家族の看護	○						
18	精神発達遅滞、発達障がいのある子どもと家族の看護	○						
19	被虐待児と家族への看護	○						
20	小児に関する法律・施策・統計	○						
21	小児看護専門看護師の役割	○						
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							